

『オール根室体制』の結束強化  
誇りに思えるまちづくりと  
ふるさと「再生・再興」そして「前進」



# 市長就任2期目に向けて



このたびの市長選挙に際しまして、皆様からあたたかいご支援をいただき、根室市政初の「2期連続無投票当選」を果たすことができました。

改めて、市民の皆様が「ふるさと根室」に何を求めているのかを深く感じるとともに、今日の厳しい社会情勢の中にあって、いかに「適正・適格」な市政運営を図り、その期待に応えていくかが大事であると考えており、「2期連続無投票当選」の「重み」と「職責の重大さ」に、まさに身が引き締まる思いです。

私は、2期目となる市政の執行にあたり、「産業振興」と「ふるさと再興政策の推進」、「市立根室病院の医療体制の充実と建設の推進」、「北方領土問題解決に向けた戦略的な環境づくり」、「協働のまちづくりと行財

政改革の推進」、「健康・福祉の増進」、「生活基盤・環境の充実」、「教育・文化・スポーツの振興」の、7項目の重点施策を掲げました。

特に、「産業振興」については、今日まで根室商工会議所や各漁協・農協などが中心となって推進してきました「産業クラスター構想」、「根室ブランドの開発」、「ハサップの推進」、「根室物産の消費拡大」などについて、さらに関係機関との連携を深め、加速させることが重要であり、また、「全道一の水揚げ」を誇っているにも関わらず、長期低迷が続いている市中経済を、「大学の力を借りて「産・学・官」の連携による検証を、基幹産業である水産業を中心に徹底的に行い、将来、根室が目指すべき方向性を見出したいと考えています。

## 空き地・空き家の管理をお願いします

根室市火災予防条例では、放火、火遊び、たばこの投げ捨て等による空き地、空き家の火災を未然に防ぐため、所有者等における適正な管理について規定しています。

平成22年8月31日現在、市内には567件の空き家があり、そのうち、出入口や窓などが開放状態となっている空き家が77件にも上ります。

空き家の出入口や窓などが開放されていると、子どもの火遊びや不審者などによる放火等も心配されるほか、強風や台風時には屋根トタンなどの飛散や建物の破損など、人命危険の恐れもあります。

建物の所有者等の方は、空き家への侵入防止や周囲に燃えやすいものを置かないなど、火災予防上必要な措置をしましょう。

### 【放火火災の実態】

- ・建物周辺に捨てられている生活用品やゴミ等に放火される。
- ・空き家、空き室内に入り込んで放火される。

### 【放火される要因】

- ・敷地内、建物内への出入りが自由にできる。
- ・空き家等は居住者がいないため、不審者に対する監視体制ができていない。
- ・建物周辺、建物内に燃えやすい物が多量にある。

### 【具体的な管理について】

- ・ドア、窓等を施錠して、みだりに人が出入りできないようにしましょう。
- ・建物周辺に燃えやすいものは、置かない（放置しない）ようにしましょう。
- ・ガス、電気は確実に遮断し、灯油等の危険物は置かないようにしましょう。



根室市消防本部  
TEL (24) 3164番